【庶務報告】

2024 年第 1 回役員会

日時：2024 年 5 月 17 日（土）17：30〜20：10

場所：Web 会議（GoogleMeet）

参加者：10 名、委任状 6 名、欠席 3 名

１．報告事項

(1) 企画担当報告（佐藤真理子企画責任幹事）

資料 1 に基づいて 2023 年度オンライン講演会の報告がなされた。参加者は家政学会員 51 名、非学会員 18 名の計 69 名であった。

(2) 会計担当報告（松井会計責任幹事）

資料 2、3 に基づいて 2023 年度決算報告がなされた。資料 3 の 2.固定資産、定額預金と固定資産合計の増減が 700,000 になっているが、0 ではないかとの質問があり、後日、本部に確認することになった。

内田幸子監査より資料 4 に基づき監査報告がなされた。

(3) 編集担当報告（西原編集責任幹事）

資料 5 に基づいて、第 43 号の発行が報告された。2024 年 3 月 20 日に発行され、2024 年 6 月に HP で公開予定である。セミナーの資料を同封していないため郵送費が減額され、経費が予算内に収まったとの報告があった。

論文投稿への協力依頼があった。

(4) 庶務担当報告（野上庶務責任幹事）

資料 6 に基づいて 2023 年度の会員動向が報告された。退会者 5 名であった。

(5) HP 担当報告（張 HP 幹事）

資料 7 に基づいてサイトの現状、レンタルサーバー・ドメイン契約更新について報告がなされた。レンタルサーバーの契約費は 10,414 円であった。

(6) 第 41 回被服衛生学セミナーについて（芝崎実行委員長：代理報告　佐藤真理子企画責任幹事）

資料 8 に基づいて、報告がなされた。参加者は、家政学会員 23 名、非学会員 13 名の計 36 名であった。

役員会の昼食代をセミナーから支出しているが、第 42 回からは部会から支出することが確認された。

(7) 日本家政学会 2025 年度活動助成結果について（潮田先部会長）

被服衛生学部会より第 42 回被服衛生学セミナーと公開講座の申請を行い、2025 年度はそれぞれ 50,969 円の助成が承認されたことが報告された。

２．審議事項

(1) 2024 年度事業計画について（佐藤真理子企画責任幹事）

資料 9 に基づいて 2024 年度公開講座の企画が提案され、提案通り開催が承認された。内容は 3 名の部会員、2 名の外部講師で構成し、9 月 28 日（土）か 10 月 5 日（土）で座位をテーマに行う予定とのことであった。部会員の中で、座位や座位に関連する研究内容の発表募集がされた。

(2) 2024 年度予算案について（松井会計責任幹事）

資料 10 に基づいて予算案が提案された。予算案通り承認された。

(3) 2024 年度編集計画案について（西原編集責任幹事）

資料 11 に基づいて 2024 年度編集案が提案され、承認された。

部会誌および HP に内規が掲載されていることについて、今後は掲載しないことが承認された。内規は庶務が保管することとなった。

(4) 2024 年度 HP 計画案について（張 HP 担当幹事）

HP の更新とマニュアルの作成と引継ぎ等の活動方針が提案され、承認された

(5) 第 42 回被服衛生学セミナーについて（潮田実行委員長）

資料 13 に基づいて、第 42 回セミナーは関東地区での担当で、大会長は潮田先生（東京家政大学）で行うことが提案され承認された。8 月 27 日（火）〜8 月 28 日（水）に、スポーツの科学をテーマに開催する。学生の懇親会費について、7000 円が訂正された。

(6) 部会長選挙について（潮田部会長）

次期部会長選挙について、臨時総会までに実施する必要があり、選挙管理委員会（3 名）を立ち上げることが提案され、承認された。

(7) 名誉会員の推挙について（潮田部会長）

名誉会員の推挙に該当する部会員がいないこと

が確認された。

（8）名誉会員の退会及び内規の改訂について（潮田部会長）

資料 14 に基づき、事務局の担当者変更について内規を改定することが提案され、承認された

名誉会員から退会の申し出があり、資料 14 に基づき退会について内規を変更することが提案されたが、内規は変更せず退会の申し出をもって退会とすることとなった。名誉会員の退会については、庶務で引き継ぐこととなった。

（9）公開講演会等要旨集からの転載に関する規定について（西原編集責任幹事）

資料 15 に基づき、以下の変更が提案され、承認された。資料投稿規定内の論文種別に定義を入れ、原著論文と資料のページ数を 8 頁に変更する。投稿規定の著作権に関連する記述を改訂する。投稿要領の論文の講評システムを廃止する。投稿要領の表現をわかりやすく字句を変更する。

変更事項は、総会で報告することが確認された。

（10）第 43 回被服衛生学セミナーについて（潮田部会長）

第 43 回被服衛生学セミナーは、関西地区での担当になり、大会長は平岩先生（愛知学泉大学）で行うことが提案され、承認された。

（11）部会の動画について（潮田部会長）

日本家政学会の HP に掲載する、部会の動画を潮田先生が作成し、薩本先生が確認することが提案され、承認された。

2024 年度総会

日時：2024 年 5 月 26 日（日）14：50～15：40

場所：椙山女学園大学（生活科学棟）

参加者：17 名、委任状 15 名

潮田部会長が議長を務めた。

1.　報告事項

(1)企画担当報告（佐藤真理子企画責任幹事）

資料 1 に基づき、会議、セミナー、講演会について報告された。また、被服衛生学部会より第 42 回被服衛生学セミナーと公開講座の申請を行い、それぞれ 50,969 円の助成が承認されたことが報告された。

(2)会計担当報告（松井会計責任幹事）

資料 2、3 に基づいて説明がなされた。資料 3 の固定資産の増減欄の定額貯金 700,000 円は誤記のため削除する。

平林監事より資料 4 に基づき、適正に会計処理がなされている旨監査報告があった。2023 年度は、衛生学セミナーの会計処理が滞り、会計担当者の負担が大きくなったため、セミナー実行委員会は領収書の管理等を迅速確実に行うよう、監事より要請があった。

(3)編集担当報告（西原編集責任幹事）

資料 5～9 に基づいて報告された。投稿規定、投稿要領の改訂について、転載がスムーズに行われるよう、日本家政学会の規定に倣った記載としたことの説明がなされた。

(4)庶務担当報告（野上庶務責任幹事）

資料 10 に基づき報告された。退会届の受理日が曖昧な 1 件については、確認して追記する。

(5)ＨＰ担当報告（傳法谷 HP 責任幹事）

資料 11 に基づいて報告された。HP 運営の実質的な担当者は張先生に引き継いでいるが、責任者は傳法谷先生であることが確認された。

(6)第 41 回被服衛生学セミナー報告（佐藤真理子企画責任幹事）

芝﨑実行委員長に代わり、佐藤真理子企画責任幹事より資料 12 に基づいて報告された。

(7)その他

とくになし

(8)【審議事項から変更】内規の改訂について（野上庶務責任幹事）

資料 19、20 について説明がされた。昨年度は、総会前の役員会が開催されず、内規が変更されていなかったため、今年度の第 1 回役員会で承認されたことが報告された。

2.　審議事項

(1)2024 年度事業計画について（佐藤真理子企画責任幹事）

資料 13 に基づいて、説明がなされた。講演会の開催日は、講演者との調整を行い、早急に知らせることを確認した。役員会の開催日を 5 月 18 日に修正して承認された。

(2)2024 年度予算案について（松井会計責任幹事）

資料 14 に基づいて説明があり、原案通り承認された。

(3)2024 年度編集計画案について（西原編集責任幹事）

資料 15 に基づいて説明があり、2024 年度夏季セミナーの記述について、2024 年度は部会の単独開催のため、第 42 回被服衛生学セミナーとすることが確認され、承認された。投稿論文の呼びかけがあった。

(4)2024 年度ＨＰ計画案について（傳法谷 HP 責任幹事）

資料 16 に基づいて説明があり、原案通り承認された。HP の運用に関するアンケートの報告の方法と時期について、次回役員会までに HP 担当で決定する。

(5)第 42 回被服衛生学セミナーについて（潮田実行委員長）

資料 17,18 に基づいて説明がなされた。会員の参加費は非課税、非会員の参加費及びすべての参加者の懇親会費は課税である旨、追記することが確認され、承認された。

(6)部会長選挙について（潮田部会長）

資料 18 に基づいて説明があり、選挙管理委員として、松井会計担当責任幹事、野上庶務担当責任幹事、丸田前選挙管理委員長の 3 名から内諾を得ていることが報告され、選挙管理委員会を発足し、7 月後半に部会長選挙を実施することが承認された。

(7)名誉会員の推挙について（潮田部会長）

今年度は該当者なしである旨報告され、承認された。

(8)第 43 回被服衛生学セミナーの開催について（潮田部会長）

平岩暁子先生（愛知学泉大学）を実行委員長として開催することが提案され、承認された。平岩先生より、有松絞りの紹介があった。

(9)その他

・2025 年度総会の開催について（潮田部会長）

次年度の日本家政学会年次大会では、会場の都合により各部会の総会を開催することが困難であるため、総会を年次大会より早い日程でオンライン開催することが提案され、承認された。

・日本家政学会 HP への部会誌の掲載について（薩本副部会長）

5 月 27 日の部会長会において、各部会の雑誌を日本家政学会のサイトに PDF を掲載することができる旨、案内があった。2024 年度は、親学会に ISBN を伝えること、冊子の刊行を次年度以降も引き続き行うか検討することが提案され、承認された。

2024 年度第 2 回役員会

日時：2024 年 8 月 27 日（火）11：00～11：35
場所：東京家政大学板橋キャンパス 120 周年記念館 3 階 120-3D マルチメディア演習室
出席者 6 名、委任状 2 名

１．報告事項

(1) 企画担当報告（佐藤真理子企画責任幹事に代わり潮田部会長）

資料に基づいて 2024 年度公開講座の計画について説明があり、日本家政学会のサイトにも掲載されていることが報告された。本部からの助成金が 50, 000 円程度であり、部会の予算から 50, 000 円程度支出することが報告された。

(2) 会計担当報告（松井会計責任幹事）

2024 年度年会費の納入依頼をメールで配信する予定であることが報告された。潮田部会長より、日本家政学会会員でない部会員の会費や参加費は課税対象であり、インボイス制度への対応が求められていることが説明された。

(3) 編集担当報告（西原編集責任幹事）

資料に基づいて、部会誌第 44 号の編集計画が報告された。

(4) 庶務担当報告（野上庶務責任幹事）

資料に基づいて会員動向が報告された。

(5) HP 担当報告（傳法谷 HP 責任幹事に代わり潮田部会長）

資料に基づいてサイトの現状及びホームページの活用に関するアンケートを準備中であることが報告された。過去のセミナー等の開催記録のページを更新してほしいという意見が出された。

(6) 第 42 回被服衛生学セミナーについて（潮田実行委員長）

資料に基づいて報告がなされた。納入されたセミナー参加費の返金はないことが確認された。

(7) その他

日本家政学会のサイトで公開する部会の紹介動画を準備しており、食文化部会と同時期に公開される予定であるというスケジュールが報告された。（潮田部会長）

２．審議事項

（1）第 43 回被服衛生学セミナーについて（平岩先生に代わり潮田部会長）

2025 年 8 月 26 日（火）午後から 8 月 27 日（水）の日程で、愛知県名古屋市緑区有松周辺を会場として開催されることが提案され、承認された。

（2）2025・2026 年度部会長選挙について（野上選挙管理委員長）

選挙管理委員長より、7 月 31 日に開票を行い、投票数 49 票（うち有効投票数 48 票、白票 1）のうち、最多得票は薩本弥生先生であることを部会長に報告したと報告された。次期部会長候補者として、薩本先生を選出することが承認された。

（3）日本家政学会員でない部会員に関する規定について（潮田部会長）

家政学会員でない部会員に年会費等を課税するにあたり、規約における会員（構成員）に関する記述を変更する必要の適否について検討した。会費等の請求時に日本家政学会員か否かで金額が異なることを知らせることで対応が可能なため、規約変更は行わないこととなった。

2024 年度臨時総会

日時：2024 年 8 月 27 日（火）16:15～17:00

場所：東京家政大学板橋キャンパス 120 周年記念館 3 階 120-3D マルチメディア演習室

参加者：15 名 委任状 22 名

１．報告事項

（1）企画担当報告（佐藤真理子企画担当責任幹事：代理報告 潮田部会長）

資料に基づいて 2024 年度オンライン講演会の開催について報告がなされた。

（2）会計担当報告（松井会計責任幹事）

資料に基づいて 2023 年度決算報告がなされた。インボイス制度への対応のため、今年度の会費は日本家政学会会員の場合は非課税だが、日本家政学会会員でない部会員は課税になるとのことであった。

（3）編集担当報告（西原編集責任幹事）

資料に基づいて、部会誌発行計画及び第 44 号の構成案の報告がなされた。論文投稿への協力依頼があった。編集委員会の内規については、HP で公開しないことが確認された。

（4）庶務担当報告（野上庶務責任幹事）

資料 4 頁に基づいて 2024 年度の会員動向が報告された。入会者 7 名（正会員 1 名　学生 6 名）退会者 0 名であった。

（5）HP 担当報告（傅法谷 HP 責任幹事：代理報告 潮田部会長）

資料に基づいてサイトの現状、掲載事項について報告がなされた。

HP 改善のため、HP に関する WEB アンケートを行うことを予定しており、役員会で回収結果を報告するとのことであった。

（6）第 42 回被服衛生学セミナーについて（潮田実行委員長）

資料に基づいて、報告がなされた。

参加者は、家政学会員 20 名、非学会員 8 名の計 28 名であった。内野美穂先生のご講演資料の取り扱いについて、公開しないよう注意喚起がされた。セミナー要旨集は内野美穂先生の資料を一部除き、再度製本後に国会図書館に郵送することが確認された。

２．審議事項

（1）第 43 回被服衛生学セミナーについて（平岩：代理報告 潮田部会長）

資料に基づいて、第 43 回セミナーは愛知県名古屋市緑区有松周辺で、大会長は平岩暁子先生（愛知学泉大学）で行うことが提案され承認された。2025 年 8 月 26 日（火）午後～8 月 27 日（水）に、有松絞りの伝統と発展をテーマに行う予定とのことであった。

（2）部会長選挙について（野上選挙管理委員長）

次期部会長選挙の開票が 7 月 31 日に行われ、投票数 49 票（うち有効投票数 48 票、白票 1）であったことが報告された。役員会において、薩本弥生先生を次期部会長候補者として選任したことが報告され、満場一致で、承認された。

（3）その他（潮田部会長）

来年度の役員の引継ぎは、オンラインで 2025 年 1 月に実施し、活動助成申請についてもその際に準備を開始することが提案された。

以上